
夏休み子ども体験講座

～本場の味ピザ作り・理科実験教室～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 学校や家庭で体験できない本場の料理や実験を通じて、子供たちに共同作業の楽しさや理科に興味を持ってもらう。
- 期 間 平成29年7月21日（金）・26日（水）（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（21日は午後1時まで、計5時間）
- 対象・定員 小学生・20人
- 参加者 27人 参加延べ人数48人
- 参加費 材料費700円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	7月21日（金）	・本場の味ピザ作り ・イタリア国旗のデザート	篠田 イラリア
2	7月26日（水）	・理科実験教室 ～ほんとは何色！？～	志木ライフサイエンスコミュニティ 鈴木 金吾

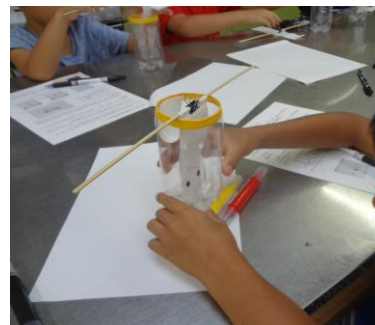
○ま と め

1回目はイタリア出身の講師からピザ作りを教わった。生地作りでは、こねた強力粉の弾力に驚きの声があがっていた。生地をねかせている間にイタリア語のクイズやフルーツのデザート作りをして、グループ内の雰囲気も打ちとけた様子だった。調理を通じて共同作業の楽しさを学んだ。

2回目は自宅からペンを持ち寄り、「ペーパークロマトグラフィ」による色素の抽出実験を行った。単色に見えるインクも色素を混合させて作っていることを学んだ。当日はインクペンのほか、バラの花びらから色素を抽出する実験も併せて行った。紹介された自由研究の事例は参考になった様子だった。



ピザの作り方の説明を受ける様子



ペーパークロマトグラフィによる実験の様子

子どもヒップホップダンス

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 体で自己表現することや仲間と気持ちをあわせて表現することの楽しさを学ぶ。
- 期 間 平成29年6月10日～7月15日までの毎週土曜日6回、
7月20日（木）1回（計7回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（土曜日12時間）
午後6時～8時（木曜日2時間）（計14時間）
- 対象・定員 市内在住又は在学の小中学生・40人
- 参加者 42人 参加延べ人数257人
- 講師 スタジオパラダイス講師 木野村 温子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	6月10日（土）	約束事について・柔軟体操・ダンスの基本ステップ
2	6月17日（土）	拍子の取り方・パート練習（高学年・低学年）
3	6月24日（土）	パート練習（高学年・低学年）
4	7月 1日（土）	パート練習（高学年・低学年）
5	7月 8日（土）	通し稽古（フォーメーションごとの位置決め）
6	7月15日（土）	通し稽古（全員でフォーメーションを組んで踊る）
7	7月20日（木）	通し稽古（大江戸まつり参加者はリハーサル兼）

○ま と め

市内9校から集まった42人の小学生がヒップホップダンスを通して、音楽に合わせて体を動かす楽しさ、挨拶や声かけ、年長者が年下の面倒をみるなどの集団で行動するために必要な規範を学ぶ。

練習では、ヒップホップが初めての子供にも分かるように踊りの基本となるリズムの取り方やボックス、フォーステップなどを丁寧に教えていた。クリス・クロスの「ジャンプ」という曲に合わせて振り付けを覚え、低学年と高学年に分かれて練習をした。高学年はより高度なステップを取り入れ、フォーメーションを変化させながら見ごたえあるダンスができるようになった。講座参加者有志が大江戸新座まつりに参加する目標をたて、練習にも熱が入っていた。子供たちはダンスを通じて大きな達成感を得たようだった。



子どもプログラミング講座

～スクラッチでゲームを作ってみよう～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 2020年度からプログラミング教育の必修化が検討される中、ゲーム作りを通してプログラミングの概念を学ぶ。
- 期 間 平成29年7月27日(木)・28日(金)(計2回)
- 時 間 午前10時～正午、午後1時～午後3時(2部制、計4時間)
- 対象・定員 小学3年生～中学生 各5人
- 参加者 11人 参加延べ人数22人
- 講師 黒江 直行
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	7月27日(木)	スクラッチで作ったゲームを使って遊んでみよう スクラッチでスプライト(キャラクター)を動かそう
2	7月28日(金)	ゲームの作成(3種類)

○ま と め

初日はプログラミングソフト「スクラッチ」を使ってゲームを楽しみ、プログラミングによる動作のイメージをつかんだ。また、歩く・ジャンプするなどの動作をスプライト(キャラクター)にさせてみたり、効果音の挿入などを学習した。2日目は3つのゲーム作りに取り組んだ。

【水槽で泳ぐさかな】

スプライト(キャラクター)の傾きを変更することで水平方向から角度をつけた動きが可能になったり、複数の動作を繰り返すブロックを選択することで回転する動きが可能になることを学習した。

【スプライト(キャラクター)の軌跡を残してみよう】

動くスプライト(キャラクター)の軌跡を歩数ごとに色を変化させ、表示させた。万華鏡のような模様を描く様子に歓声があがった。

【動くブロックにスプライト(キャラクター)をヒットさせて、ブロックから別のスプライト(キャラクター)を呼び出そう】

3体のスプライト(キャラクター)を同時に動かすとともに、「もし～なら」などのブロックを使用することによりさらに複雑な動作を学んだ。

遊びを通して創造性や理論を組み立てることの面白さに触れた講座となった。

書き初め練習会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 広々とした場所で集中して書き初めの練習ができる機会を提供するとともに美しい字を書こうとする意識を持たせる。
- 期 間 平成29年12月26日(火) (2部制 計2回)
- 時 間 午前10時～正午、午後1時～3時(計4時間)
- 対象・定員 市内在住の小・中学生・各15名
- 参加者 35人
- 講師 書道家・元小学校教諭 桜井イサ子
- 事業内容 太筆や細筆の正しい筆運びなどを学び、それぞれの学年の冬休みの書き初めの課題作品を仕上げる。

○ま と め

今年度は低学年を午前の部、高学年を午後の部とし、2回に分けて講座を開いた。受付開始前から窓口に行列ができる等、応募者が殺到した。来年度は抽選か、初めての方を優先にするなど工夫が必要と思われた。

クラス分けをしたので、講師も指導しやすかったようであった。受講生ごとにポイントをおさえた指導は大変わかりやすく、文字のバランスや名前の大きさ、筆の運び方、特に「とめ」や「はね」に気をつけて書くことに注意を払うようお手本を見せて書かせていた。また細筆での名前書きや苦手なところも繰り返し練習させていた。集中力が続かない受講生にも、講師は無理強いせず励ましなが、丁寧に教えていた。

受講生全員が基本に立ち返って、墨の選び方や吸い取り紙の使い方、筆の運び方、書き上げた作品の保存方法等を学んだ。

全員が時間内で学校へ提出する作品を書きあげることができた。



練習の成果を披露する様子

親子茶道講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 親子で茶道を体験することで日本文化を知る。
- 期 間 平成30年1月6日(土)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 小学生とその保護者・20人(10組)
- 参加者 10人(5組)
- 参加費 親子で500円(子ども1人追加につき200円)
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	1月6日(土)	茶道の歴史、お茶の種類、 抹茶の飲み方・点て方	裏千家師範 大西 幸江

○ま と め

8組の親子の申込みがあったが、残念ながら当日に3組のキャンセルがあり、5組の参加となってしまった。

講師は子供にも分かりやすいように、茶道の歴史や道具類、当日設えた和室の掛軸や香炉などの説明の後、襖の開け方、和菓子や抹茶のいただき方、道具類の拝見の仕方など、ひとつおりの作法を学び、抹茶を味わった。

講義後半には、子供たち全員がお茶を点てて保護者にふるまい、親子でほほえましいひとときを過ごすことができた。

和室で正座するという程よい緊張感の中、楽しい学びの機会となった。参加者の中には、抹茶をいただけるところは多いが、自分で点てるということはなかなかできないので、貴重な体験だったとか日常生活の中で日本の伝統文化に触れるよい機会だったとの声をいただいた。

子供が習える茶道教室が少ないので、是非サークル化してほしいという熱心な参加者もいた。

年に数回、季節のお茶会を開いてほしいとの要望もいただいた。



茶道具の扱い方を教わる様子

大和田小さな家おはなし会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ボランティア団体の協力により子供たちに読書に親しむ機会を提供する。
- 期 間 平成29年4月7日～平成30年3月16日までの第1及び第3金曜日。ただし、5月・11月は第3金曜日のみ、8月はお休み（計20回）
- 時 間 午後3時30分～4時（計10時間）
- 対象・定員 市内在住の乳幼児又は小学生と保護者・20人
- 参加者 参加延べ人数118人
- 講師 ボランティアサークル「大和田小さな家」
- 事業内容

月 日	内 容	
第1・第3金曜日	お話会	・手遊び ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居
7月 7日（金）	七夕会	・手遊び ・絵本（だいくとおにろく） ・ペープサート（紙人形劇・かばのこ） ・紙芝居（なぜ七夕にささかざりをするの？） ・歌（七夕の歌）
12月15日（金）	クリスマス会	・手遊び・絵本（なりました・クリスマスのふしぎなはこ） ・手袋シアター（三びきのやぎのがらがらどん） ・大型絵本（バスでおでかけ） ・歌（きよしこのよる）

○ま と め

当館利用のサークル「大和田小さな家」の協力を得て、今年度も様々な絵本や紙芝居などを通して絵本の楽しさ、日本や世界のお話を子供たちに紹介した。

参加したお母さんには、午後の時間を親子でゆっくり過ごしていただき、親子間又は地域の方々とのコミュニケーションを作る場となっている。

年に数回催されるお楽しみ会では、季節を感じられるような趣向となっており、幼児から小学生までの異年齢の子供たちが参加して楽しんだ。

今後も情操教育を育む場として継続していきたい。



環境講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 身近に起こる災害の事例やいざというときの防災の最新知識を環境のプロに学ぶ。

○期 間 平成29年9月8日～22日までの毎週金曜日（計3回）

○時 間 午前10時～正午（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 44人 参加延べ人数69人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	9月 8日（金）	気象情報の活用と気象災害	熊谷气象台副所長
2	9月15日（金）	起震車体験と救命救急の方法	新座市消防署 大和田分署職員
3	9月22日（金）	東京ガスの省エネと防災と非常食を使った料理	東京ガス職員

○ま と め

第1回目は異常気象について講義していただいた。現代は急激な積乱雲の発達により竜巻、ダウンバースト、ガストフロント等が起こり日本各地で被害報告が聞かれるようになった。新座市でも局地的豪雨による柳瀬川での事故があったので受講生は大変熱心に聞いていた。

2回目は震度7の揺れが再現できる起震車体験と救命救助法とを体験した。AEDを使った救命救急法では万一の際、人命を救う手立てになることを学んだ。

3回目は災害時におけるガスの復旧方法や非常食のおいしい食べ方を紹介していただき、ローリングストック法の重要性を学んだ。



気象情報の活用を学ぶ



AED使用訓練



ガスの復旧方法を学ぶ

CO2削減講座 緑のカーテン

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 環境講座の1つとして、ゴーヤで緑のカーテンを作る方法を学び、二酸化炭素削減に努める。
- 期 間 平成29年6月15日(木)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 12人
- 講師 環境まちづくり地域協議会inいざ会長 櫻 博子
環境教育支援ネットワークきづき主宰 荻原 洋志
- 事業内容 夏近くなると、庭先やマンションのベランダにゴーヤ等の植物を植えて作る「緑のカーテン」を見かけることが近年夏の風景となってきた。手軽に家庭でも取り組めるエコ活動として、さらなる普及を目指し、今年度もこの講座を市内5館の公民館で開催した。

○ま と め

講座では、最近の住宅事情を考慮し、ベランダでの栽培のポイントやプランターの大きさ、土の量、支柱の立て方など実演を交えての解説が好評であった。

また、参加者からは土づくりの時期や水やりのタイミング、肥料の与え方など質問が相次ぎ、非常に熱心に講義を受けていた。講師からは摘芯・誘因の必要性など詳細なアドバイスがあった。受講生には講座終了後にゴーヤの苗が配布されるが、それぞれが思い描く緑のカーテンのイメージを楽しそうに話合っていた。

今年度は、収穫後のゴーヤを使ったレシピの紹介があり、アンケート結果ではとても参考になった等の意見が寄せられた。



緑のカーテンの作り方について・講義の様子

ワンダフルライフセミナー

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 より充実した人生を過ごすため、新たな趣味や運動体験を通じて、豊かで健やかな生活を送る。

○期 間 平成29年5月11日～5月25日までの毎週木曜日
(計3回)

○時 間 午前10時～正午(25日は午前11時～午後12時30分まで、計5.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人(大和田寄席は100人)

○参加者 90人 参加延べ人数125人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	5月11日(木)	ノルディックウォーキング	ノルディックウォーキング協会 坂本 静男
2	5月18日(木)	楽しく歌おう!	サークル講師 大嶋 豊子・高岡 秀子
3	5月25日(木)	～公開講座～ 笑って元気に!大和田寄席	落語家 立川 らくぼ

○ま と め

健康で充実した生活を楽しむための講座に、今年度はノルディックウォーキングを講座に組み込んだ。スティックを使って歩くことにより関節への負担軽減となるとともに、普通のウォーキングよりも多くの部位が可動するため、年代を問わず体作りには有効である。講義の後、近隣の公園や公民館の外周の散策を楽しんだ。2回目の講座では子供の頃から慣れ親しんだ唱歌を手遊びや体を動かしながら合唱した。脳トレにもなったと非常に好評であった。3回目は「笑いは元気の素」との考えから大和田寄席を催した。多くの方の来場をいただき、笑いで「老い」や「病気」を吹き飛ばしてもらった。



ウォーキング前のストレッチ



楽しく歌おう!

歴史講座 ～大和田宿と川越街道～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 大和田宿と川越街道との関わりという観点から地域の歴史を学び、郷土への愛着を持ってもらう。
- 期 間 平成29年11月9日・16日の木曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 21人 参加延べ人数37人
- 講師 郷土史研究家 井上 國夫
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 9日（木）	・大和田宿と川越街道～川越街道よもやま話～
2	11月16日（木）	・小江戸の町 川越散策

○ま と め

柳瀬川沿いの集落であった大和田は古くから交通の要所であり、江戸時代には宿駅伝馬制度にみられる継立て（つぎたて）を行う宿駅として栄えたことから、川越街道との関わりも深い。第1回目はその歴史的背景について学んだ。川越街道は近世初期より武蔵国内の重要な幹線道路として位置づけられており、この街道がいかに栄えていたかを明治35年頃の地図で確認した。また、野火止用水が生活に欠かせない水路として人々に利用されている様子を撮影した昭和初期の映像が紹介され、当時を懐かしむ受講生から驚きの声があがった。

第2回目は小江戸・川越を散策し、国指定重要文化財である喜多院と川越本丸御殿を見学し、本市にもゆかりのある松平信綱公が整備した城郭の広さなど、資料を交え説明を受けた。その後、川越市立博物館へ向かい、川越の城下町の変遷について蔵造りの町並みの再現模型を使って説明を受けた。明治26年の川越大火を逃れた大沢家の店蔵を真似て商人が競って蔵造りを始めたくだりは臨場感を伴い、迫力があつた。受講者からは、現地集合で時間を有効に使い、講師の説明を聞きながら散策できたと好評であった。



ハンゲル語入門講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ハンゲル文字の読み方、書き方、発音など基礎から学ぶ。
- 期 間 平成29年10月10日～10月31日までの毎週火曜日
(計4回)
- 時 間 午後1時～3時 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 6人 参加延べ人数22人
- 講師 ハンゲル語講師 池 慶順
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	10月10日(火)	・ハンゲル語の成り立ち ・母音、文字の書き順、発音
2	10月17日(火)	・母音、子音、文字の書き順、発音
3	10月24日(火)	・平音の文字の書き方、発音 ・二重母音(複合母音)の文字、発音
4	10月31日(火)	・二重母音(複合母音)の文字、発音 ・濃音の文字の書き方、発音

○ま と め

ハンゲル語は、10の母音と19の子音、及び11の複合母音を組み合わせて発音する表音文字から成る言語であるが、今年度は入門編を実施した。

ハンゲル語を初めて学ぶ方も多く、文字の書きとりから始まり、発音の仕方など丁寧に講義が進められた。講座回数が4回に限られるため、受講生が自宅で復習してくることが理解度を深める鍵となった。

講義では簡単な日常会話のほか、学習した範囲で読むことができる単語なども学んだ。今回は濃音までの内容となったが、今後の学習の基礎となる重要な部分なので語学習得の足がかりになったのではないかと考える。

アンケートでは、発音の仕方を中心に受講回数を増やしてほしいとの意見が寄せられた。



栄養満点クッキング講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 家族の健康を考え、ヘルシー食材であっても栄養価の高い料理作りを学ぶ。

○期 間 平成29年9月5日(火)・12日(火)(計2回)

○時 間 午前10時30分～午後1時30分(計6時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 21人 参加延べ人数36人

○参加費 材料代1,300円

○保育 保育延べ人数7人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	9月 5日(火)	ミルク和食	森永乳業エムズキッチン
2	9月12日(火)	ヘルシーフレンチ	高橋 義男

○ま と め

第1回目は乳製品を利用してミルク和食に取り組んだ。乳製品を活用し肉を柔らかくする方法や乳製品を加えることでコクやうまみを増し栄養価が上がる調理方法などを教わり、料理の幅が広がったと好評であった。

- ・鶏むね肉の香ばし焼き パルテノソース
- ・鮭しんじょのミルク茶碗蒸し
- ・きなこの和風チーズケーキ

第2回目は野菜や魚を多用したヘルシーフレンチを学んだ。

素材を活かし、体の中から健康を作る滋養豊かな2品を教わった。目鯛のソテーは盛り付けも美しく、フレンチ料理の繊細さに触れることができた。クリスマスケーキも作ってみたい等のリクエストもいただいた。

- ・目鯛のソテー アップルソース野菜添え
- ・かぼちゃのロールケーキ



ミルク和食



ヘルシー
フレンチ

日本文学講座（前期）

〈大和田公民館〉

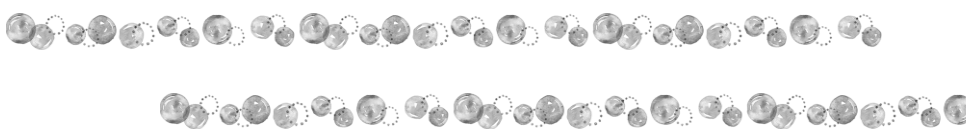
- 開設の趣旨 万葉集の名歌を通して、先人の思想や自然観、歴史的背景などを学ぶ。
- 期 間 平成29年5月13日～6月17日までの毎週土曜日（計5回）
※5月20日を除く
- 時 間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 46人 参加延べ人数188人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	5月13日（土）	・万葉集の成り立ちと東歌 ・古代人の自然観
2	5月27日（土）	・東歌に見る古代人の生活規範
3	6月 3日（土）	・神婚説話と東歌に見る当時の祭礼
4	6月10日（土）	・古代人の恋愛と月齢との関係
5	6月17日（土）	・大嘗会・新嘗祭等の祭礼について

○ま と め

万葉集は759年に成立し、主に雑歌、相聞歌、挽歌などから成る全20巻の我が国最古の和歌集であるが、当講座では地方の歌を収集した東歌（巻14）にテーマをしぼり講義していただいた。

東歌は関東地方（当時は中部以北を東北と表した）にもゆかりがあり、地方の方言を織り込みながら、当時の人々の生活を豊かに表した万葉集の中でも異色の巻となっている。講義では、先人の生活規範（神話における神々の行いを道徳倫理の礎とした）や自然観などの時代背景を交え、多角的な視野で和歌を学習した。講義後にも受講生から質問が出るなど、活気ある講義となった。



講義の様子



日本文学講座（後期）

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 万葉集の名歌を通して、先人の思想や自然観、歴史的背景などを学ぶ。
- 期 間 平成29年10月28日～11月18日までの毎週土曜日（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 46人 参加延べ人数142人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	10月28日（土）	・巻十三の特色・長歌の形式とその特色・越水信仰
2	11月 4日（土）	・恋の遠回り ・記紀歌謡との関連
3	11月11日（土）	・二十四節季 雨によせて詠まれた歌
4	11月18日（土）	・古代人と神の姿 参考文献「遠野物語」

○ま と め

日本文学講座【後期】では、アンケート結果を参考に要望の最も多かった万葉集を引き続き講義していただいた。題材となった巻十三は、巻一・二に次ぐ古い時代の歌を収集しており、長歌・反歌・旋頭歌のみで構成され、短歌のない巻であることが最大の特徴である。

長歌で事実や事柄を述べ、反歌と対を成すことでその歌の背景や心情を表した詩歌の形式は、時代の変遷により字句制限がありつつも抒情を語ることに優れた短歌が好まれるようになり主流となった。今日「和歌」が短歌を指すようになったのはこのためであることを学んだ。

講義では当時の山越えの恋の歌や越水（又は若水とも・現代の福茶の風習につながる）の説話などを交え、先人の暮らしや詩歌に込められた心情に思いを馳せた時間となった。



おもてなし英会話講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 2020年の東京オリンピックの開催に向けて、日本を訪れる外国人旅行者に対し簡単な道案内ができるように必要な単語やフレーズを学ぶとともに、英会話を練習する。

○期間 平成29年5月31日～6月14日までの毎週水曜日（計3回）

○時間 午後6時30分～8時30分（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人

○参加者 13人 参加延べ人数35人

○講師 英会話講師 イアン エリス

○事業内容

回	月 日	内 容
1	5月31日（水）	自己紹介をしてみよう 友達に週末にあったことを話してみよう 旅行先でよく聞かれる場所は・・・
2	6月7日（水）	会話を続けてみよう（会話を続けるためのフレーズ） 何かお困りですか？ おすすめの観光地を案内してみよう
3	6月14日（水）	日本の文化・観光地を紹介してみよう 駅までの道案内 電車の乗換えや切符を買うときは・・・

○まとめ

旅行者への道案内が講座のテーマであったが、尋ねられることが多い施設の英語表現や電車の乗り換え方、切符の購入方法など知っていると役立つようなフレーズを主に練習した。また、参加者からの要望で、イベントや観光名所への案内なども学習項目に取り入れた。

参加者をレベル分けせず発言の機会を均等に割り振り、生徒全員が英語で発表ができるよう配慮した。参加者の学習意欲は高く、休憩時間にも講師に質問する姿が見られた。

アンケートも概ね好評であり、館を利用している英会話団体への問い合わせもいただいた。英会話学習を継続する橋渡しとなった。



そば打ち体験講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 日本古来の伝統食であるそばについて、栄養価や国産そば粉の現状を学ぶとともにそば打ちを実践する。
- 期 間 平成29年12月15日（金）
- 時 間 午前10時～午後2時（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人 参加延べ人数20人
- 参加費 材料代700円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	12月15日（金）	そばの栄養について そば打ち実習、試食 そばがき調理実演、試食	さいたま蕎麦打ち倶楽部 講師 田中浩三 ほか

○ま と め

今年で10回目を迎えるそば打ち体験講座は大変人気が高く、すぐに定員に達した。今年初めて受講する方は11人で、約半数の方はリピーターの方であった。講師は「さいたま蕎麦打ち倶楽部」の方8人で、受講生は4人1組となり5班に分かれて実習した。

講師がそば打ちを実践し手本を示した後、受講者が交代でそばを打った。参加者全員がそば粉に水を入れてこねる「水回し」「捏ね（こね）」、延ばす「延し」、刻む「切り」の作業をすべて体験できるよう各工程で個人指導に近い形で指導を受けた。班によって時間差ができないよう進行状況を確認しながら進められたため、全班がほぼ同じペースでそば打ちができた。

そばがきの調理実演もあり、即席の試食会が開かれた。その後、自分で打ったそばと講師のそばとを食べ比べ、麺の太さや舌触りの違い等を実感した。講師のそばは格段に美味しいとの感想が寄せられた。

そば打ちは奥が深く、年越しそばだけではなく年に何回か講座を開催してほしいという声もあった。



パソコン入門講座

～パソコンで年賀状を作ってみよう～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 パソコンの基本を学び、オリジナル年賀状を作る。
- 期 間 平成29年11月22日（水）・29日（水）（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人 参加延べ人数26人
- 講師 シルバー人材センター 黒江 直行 外1人
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月22日（水）	ワードのシェイプアート機能を使ってみよう
2	11月29日（水）	作画した画像を取り込んでオリジナルの年賀状を作成する

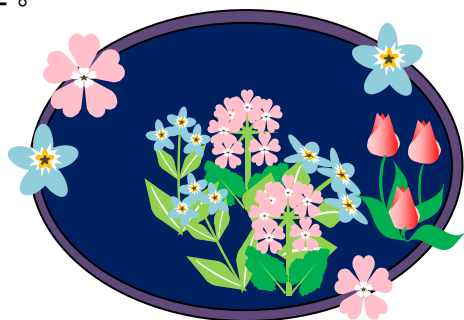
○ま と め

年賀状作成の時期にあわせて、オリジナルの年賀状づくりを通じてパソコンに慣れ親しんでいただくことを目的に開講した。

シェイプアート機能については、初めて利用する方も多く、操作に慣れるまで時間がかかったが、図形を組み合わせて練習課題の鳥のイラストを完成させる頃には、受講生それぞれの好みにあわせて色々な表情の鳥が完成した。

2日目は背景色のグラデーション加工や干支の絵素材、シェイプアート機能で作成した花のイラスト等を組み合わせて、オリジナル年賀状を作成した。完成した年賀状の図案はCD-Rに記録して年賀状用に持ち帰っていただいた。

アンケートでは、概ね好評価をいただき、来年度への継続希望も多くいただいた。



花のイラストを組み合わせた図案

仕事に役立つパソコン《エクセル》講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 求職中の方やこれから仕事でエクセルを使う機会がある方等を対象にして、基本操作から表の作成、関数等を使いこなす。
- 期 間 平成30年1月13日～2月10日までの毎週土曜日（計5回）
- 時 間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人 参加延べ人数42人
- 講師 黒江 直行
- 事業内容

入力の基本操作からデータベースの作成と加工までを全5回で学習した。

回	月 日	内 容
1	1月13日（土）	基本操作・入力の仕方
2	1月20日（土）	便利な機能・よく使う関数
3	1月27日（土）	書式設定・写真の挿入
4	2月 3日（土）	必要なデータを抽出・グラフの作成
5	2月10日（土）	データベースの活用・住所録の作成

○ま と め

受講生はCD-ROMに入った練習問題を加工しながら学習した。休憩時間や講義の前後の時間も講師へ質問するなど積極的に取り組んでいた。パソコンを開いたことのない受講生も家族に驚かれるほど上達したと報告をいただいた。講義後は加工したデータを持ち帰って復習ができるようにした。

来期に向けたアンケートでもパソコン系講座の開設要望は多く、今回のエクセル講座のステップアップ編やワードについても関心が高い結果となった。

今後もニーズに応じて継続していきたい。



パソコン講座中級者向け

～歌声合成ソフトUTAUを使ってみよう～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 パソコンを使って作曲・作詞を行い、編曲しながら合成音声による歌声で音楽を楽しむ。
- 期 間 平成29年9月30日（土）、10月7日（土）（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・5人
- 参加者 4人 参加延べ人数8人
- 講師 黒江 直行
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	9月30日（土）	歌声合成ソフトUTAUでできること（デモ） UTAUの基本操作
2	10月 7日（土）	作曲（音符入力）・作詩（歌詞入力）・アレンジまで行い1曲仕上げる

○ま と め

フリーソフトであるスコアエディターとUTAUを使って、作曲（音符入力すること）・作詞（音符に歌詞を入力すること）を行い、歌うことが苦手な人も音楽に親しむことを目指した。

第1回目はスコアエディターを使い、日本古謡「さくら」の譜面を入力し、MIDI（電子楽器の演奏データを機器間でデジタル転送するための国際規格）ファイルを作成後、歌詞をつける作業を行った。UTAUに作成したMIDIファイルをインポート（形式の異なるデータを変換して読み込ませること）し、ファイルから得た楽曲に歌詞を入力後、音出しを行った。

第2回目は、より自然な声音に近づけるために伴奏と歌い出しのタイミングを合わせるなどの加工を行い、なめらかな歌声になるための調整方法を学んだ。今回はUTAU入門編であったが、アンケートではより深く学んでみたいなどの意見もあった。



ゆかた着付け講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 ゆかたの着付けを通して日本の伝統文化である「きもの」に興味を持ってもらうことを目的とした。講座では、着付けの基本と半幅帯のアレンジを学ぶ。

○期 間 平成29年7月5日（水）・6日（木）（計2回）

○時 間 午前10時～正午（計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の女性・10人

○参加者 10人 参加延べ人数17人

○講師 着物インストラクター 津田 晶子 外2人

○事業内容

回	月 日	内 容
1	7月5日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・きもの基本的な決まりごと ・肌着、ゆかた着付け、帯結びの段取り ・文庫結びが一人でできるように繰り返し練習 ・きものたたみ方
2	7月6日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・美しく着るためのコツ（タオルを使用した体形補正） ・半幅帯の変わり結び

○ま と め

2日間にわたり、ゆかたの着付けと帯結びを学習した。

1日目はゆかたの部位の名称から着付けのポイント、ゆかたを着て外出する際のTPOを学んだ後、ゆかたの着付けと帯結びの基本となる文庫結び、ゆかたのたたみ方までを実習した。着付けが初めての受講生に沿って講義が行われたが、全員が3回ほど着付けと帯結びを繰り返し学んだ。

2日目は前日のおさらいの後、タオルを使った体形補正の講義があり、講師は着付けをより美しく仕上げるためのポイントを分かりやすく解説していた。

また、帯結びの応用編としてみやこ結びの変形（創作）と伝統的な貝の口を習った。

受講生同士でお互いに教えあう姿も見られ、和装文化を通して地域交流の場となった。

アンケート結果でも好評を得た講座であった。



文庫結び

ママのためのヒップホップダンス

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 子育て中の母親を対象に、子育てによるストレス解消と仲間作りの場とするためにヒップホップダンスを学ぶ。
- 期 間 平成29年11月10日～12月8日までの毎週金曜日
(計5回)
- 時 間 午前10時～正午 (計10時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方20人
- 参加者 17人 参加延べ人数70人
- 講師 スタジオパラダイス講師 木野村温子
- 保育 保育延べ人数37人
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月10日(金)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
2	11月17日(金)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
3	11月24日(金)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
4	12月 1日(金)	構成、フォーメーションごとの位置決め
5	12月 8日(金)	通し稽古(クリスマス会参加者はリハーサル兼)

○ま と め

今年度も定員いっぱいの申込みがあったが、直前になって多少のキャンセルがあり、結果的に定員割れになってしまい残念であった。しばらくぶりに運動する人もいたが、皆が当日習ったダンスを動画で撮影し自宅で復習してきたのですぐに上達していった。その結果、前後入れ替えのフォーメーション等も織り交ぜて本格的なダンスに仕上がった。今回も「大和田ハッピーXmas」に有志の方6人が出演してダンスを披露してくれた。

当日出演できなかった受講生も観客として応援するなど講座が終了した後も受講生同士が仲良く交流する姿も見られた。

今回は保育サポーターの確保が難しく、今後の課題となった。



クリスマス会でダンスを披露する様子

ふれあいタイム企画準備会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 平成30年度に開催するふれあいタイムの企画、打合せを行う。
- 期 間 平成29年9月27日（水）
- 時 間 午前10時30分～正午（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方5人
- 参加者 6人
- 事業内容 今年度の反省と来年度の講座の日程調整・内容の検討を行う。
- まとめ 平成30年4月21日（土）うどん作り
平成30年4月25日（水）バスハイク（羽田空港見学）

障がい者地域活動センター「ふらっと」や「くるみの木」が当館の近くであり、障がいのある方もない方も共に交流を深めることを目的に「ふれあいタイム」講座を開講してきた。

平成29年度は大和田1・2丁目町内会の協力を得て「うどん作り」と埼玉県のリフト付き大型バス「おおぞら号」を利用してバスハイク（グリコピア見学）を行った。企画準備会では、今年度の反省点を活かして、来年度の講座内容をどのようにしたらよいか意見交換を行った。

企画準備会議では、全員が活発に発言し、有意義な話し合いとなった。平成30年度もバスハイクの希望が多く、来年の4月に羽田空港見学と決まった。

また、例年課題となる参加者集めについては、工夫が必要であり、周知用のチラシは例年どおり障がい者地域活動センター「ふらっと」が担当し、バスハイクのしおりや移動中のレク等は大和田公民館が担当することを確認した。



スマホ・タブレット講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 スマートフォンやタブレットを持っている方を対象に、自分の機器に備わっている機能を知り、基本操作を学ぶ。
- 期 間 平成29年8月29日（火）・30日（水）計2回
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 31人 参加延べ人数31人
 （スマートフォン：18人、タブレット：13人）

○事業内容

回	月日	内 容	講 師
1	8月29日（火）	・スマートフォンの基本操作と機能 ・アプリのインストール方法とお役立ちアプリの活用	KDDI 株式会社
2	8月30日（水）	・タブレットの基本操作と機能 ・アプリのインストール方法とお役立ちアプリの活用	KDDI 株式会社

○ま と め

スマートフォンやタブレットを持っていても使い方が分からず、その機能を十分に使いこなせない方を対象に、基本操作を押さえながら応用編まで学ぶことを目的に募集したところ、多数の応募をいただいた。

受講生の5割が機器を使い始めて半年以内ということもあり、基本操作となる音声検索やタップ（画面を軽くたたく）やピンチイン・アウト（画面の縮小・拡大）の練習を「タッチザナンバーズ」や「グーグルマップ」などのアプリを使って練習した後、アプリのインストール方法や動画の視聴のほか、災害対策や被災時にも活用できるラジオアプリを紹介してもらった。

シニア層向けの講座ということもあり、講師側から講義中はカタカナ用語を使わない配慮があり、分かりやすい講座内容だったと好評だった。



スマホ講座の様子



タブレット講座の様子

か が や き 塾

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 より充実した人生を過ごすために健康面、趣味などで生きがいを持つことについて学ぶとともに、仲間作りの場とする。
- 期 間 平成29年9月26日～10月17日までの毎週火曜日
(計4回)
- 時 間 午前10時～正午(10月3日は午前8時～午後4時)
(計14時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 40人 参加延べ人数147人
- 参加費 2,100円(昼食代・高速料金代)
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	9月26日(火)	健康体操	サークル講師 年増 千春
2	10月 3日(火)	千葉県佐原市内見学	佐原町並みボランティアガイド職員
3	10月10日(火)	高齢者自転車安全教室	埼玉県県民生活部防犯・交通安全課 荒木 敏夫
4	10月17日(火)	振り込め詐欺防止	新座市役所経済振興課職員及び新座市消費生活センター相談員 近藤 則子

○ま と め

1回目は昨年好評であった健康体操で、年齢や体力に応じて無理なく楽しく体を動かした。2回目は館外学習で千葉県佐原市内散策に行った。早朝出発にも拘わらず一人の欠席者もなく出かけることができた。伊能忠敬記念館を中心に見学し、町並みボランティアガイドから詳しく説明を受けた。蔵造りの町並みは参加者の心に強く残った様子であった。3回目は交通安全教室で車の安全運転の仕方や自転車の安全な乗り方について学んだ。4回目は振り込め詐欺の防止について、最近の手口や電話口での対応法など詳しい説明を受けた。関心の高い、身近な話題とあって活気のある講義となった。



わくわくキッズファミリー講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 子育てについての学習を通して、親同士で悩み事を話し合い親睦を深める。
- 期間 平成29年6月6日～6月27日までの毎週火曜日
(計4回)
- 時間 午前10時～正午(20日のみ午後1時まで、計9時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方の2歳から就学前までの親子・20組
- 参加者 17人(13組) 参加延べ人数41人
- 材料費 1,300円(コサージュ及び調理材料費)
- 保育 保育延べ人数41人
- 事業内容

回	月日	内容	講師
1	6月6日(火)	健康ヨガ	ヨガインストラクター 青木 加奈子
2	6月13日(火)	コサージュ作り	フラワーアレンジメント講師 渡辺 美和子
3	6月20日(火)	～時短レシピ～ 手作りおやつ	ままごとキッチン 前田 純子
4	6月27日(火)	子どもの成長・親の成長	埼玉県家庭教育アドバイザー 塚原 美和子

○まとめ

体を動かしたり、手芸や料理を通じてお母さんたちの人間関係を広げ、仲間作りのきっかけになるような講義を企画した。コサージュ作りでは卒園式や入学式にも使えるものを講師にお願いした。時短レシピのおやつ作りでは試食を子供たちと楽しみ、打ちとけた雰囲気となった。県家庭教育アドバイザーによる講義では子供の成長は親の成長でもあることを気付かせる講義であった。

また、参加者の子供の体調による当日のキャンセルが多く、今後の課題となった。



人権研修

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 公民館利用者団体の代表者を対象に人権研修を行う。
 一人ひとりが地域社会を担う構成員であることを自覚し、助け合い、支え合いについて考える。
- 期 間 平成29年5月20日（土）
- 時 間 午前11時～正午（計1時間）
- 対象・定員 公民館利用者団体の代表者の方・50人
- 参加者 32人
- 事業内容 人権学習DVD「親愛なる、あなたに」を鑑賞し、身近な人権について考える。

○ま と め

人権問題を身近なこととして考えてもらいたいとの考えから、多くの方が集まる公民館利用者懇談会後に人権学習DVDを上映した。

1980年代以降、都心部では核家族化が進み、社会問題となっている。三世同居が当たり前であった頃に比べ、子供の教育は身近な大人の手から学校を始めとする家庭外の機関へと委ねられることが多くなった。子供を地域で見守ることによって培われていた大人同士の絆や異世代間の交流の場もゆらぎつつあり、私たちの大きな課題である。

教材のDVDではどの家庭にも起こりうる題材を元に、偏見を持つことなく、孤独感・疎外感に苛まれる近隣の人々との関わりを通じ支えあう姿を描いている。

（内容… 家庭を顧みなかった定年退職を迎えるサラリーマンが、妻の死後、慣れない家事に戸惑いながらも近隣の居酒屋を営む夫婦に助けられながら立ち直り、地域社会への関わり糸口を見出していくという、身近な地域社会参画をテーマにしたもの）



ふれあいタイム

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 障がいのある方もない方も、一人で外出が不安な方も地域の方と気軽に交流し、お互いに理解を深める。
- 期間 平成29年6月24日(土)、7月4日(火)(計2回)
- 時間 6月24日午前10時～午後1時、
7月4日午前9時30分～午後4時(計9.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人(バスハイクは10人)
- 参加者 47人 参加延べ人数67人
- 参加費 100円(調理材料費)、1,400円(昼食代・高速代他)
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	6月24日(土)	うどん作り	大和田一・二丁目町内会
2	7月 4日(火)	グリコピアイースト工場見学	グリコピアイースト工場職員

○ま と め

毎年秋に行っていた講座であるが、今年度は6月・7月の実施になった。1回目はうどん作りで、野菜を切ったり、うどん生地を捏ねたり、健常者に手助けを受けながら全員でうどんを作った。今年はたくさんの方に参加してもらい、ロビーでおいしいうどんを食べることができた。

2回目はバスハイクを企画し、グリコピアイースト工場見学となった。埼玉県のリフト付き大型バス「おおぞら号」を借りて出かけるバスでの移動は乗り降りに時間がかかるので、スケジュールには余裕をもって計画することを再認識した。グリコの工場内はすべてオートメーション化され、あっという間にたくさんのお菓子ができるところを見学した。小グループに分かれたこともあり、スムーズに見学できた。

バスの中ではクイズなどをしたり、全員が自己紹介をして親睦を深めた。

帰りには来年度行ってみたい場所の希望も聞き、コミュニケーションもよく取れ有意義な一日となった。



大和田ハッピーXmas

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 お楽しみ会を通じて、地域交流の場を設ける。
- 期 間 平成29年12月9日(土)
- 時 間 午後1時30分～2時40分(計1時間10分)
- 対象・定員 幼児及び小学生と保護者など・120人
- 参加者 155人
- 事業内容

クリスマスミニコンサート	フルート奏者 小松 由歩
ヒップホップダンス	HIPHOPパラダイス ママのためのヒップホップダンス受講生
マジック・腹話術	腹話術師 ダメジャー中曽根

○ま と め

今年で10回目を迎える催し物で、普段館を利用している方への還元という意味も含めて、地域と館との親睦を図ることを目的としている。春の公民館まつりと並び館の2大行事の一つである。今年度も多くの方に参加をいただき、盛況であった。

催し物としては、公民館まつりでも好評を得たフルートとピアノ演奏によるミニコンサートを始めとし、ヒップホップダンス、手品と腹話術によるお楽しみ会となった。ヒップホップダンスでは、館講座受講生も有志で出演し、発表の場を得た。

子供から年配の方まで幅広い年齢層の方に御来場いただき、会場は終始和やかな雰囲気であった。出演者と来場者が一体となり、楽しめたようだった。



ミニコンサートの様子



ヒップホップダンスの様子



手品・腹話術の様子

桃の節句茶会

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 子供の健やかな成長を祝う節句にあわせて、日本文化のひとつである茶道に親しむ。

○期 間 平成30年3月3日(土)

○時 間 午前10時～正午(計2時間)

○対象・定員 制限無し・30人

○参加者 23人

○参加費 150円

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	3月 3日(土)	抹茶の飲み方・たて方	裏千家師範 大西 幸江

○ま と め

以前から親子茶道講座で要望のあった季節の茶会を桃の節句にちなんで実施した。

会場は多くの方に参加していただけるように和室でなくロビーで行った。小さいお子さん連れの方や高齢者にも配慮して立礼の茶会とした。この時期ロビーを飾る雛人形を囲み、毛氈や野点傘、床几台等を用意して茶会の雰囲気盛り上げた。

当日は、近隣の小学生を始め、高齢の方、幼児の付き添いで若いお父さんの参加もあって、幅広い年代層の参加をいただいた。

日本文化への関心の高まりから、初めて茶道に触れる方も多く、お菓子やお茶のいただき方等を教わった。

お茶を点てる体験コーナーも用意したところ、茶道具に触れ、自分でお茶を点てて味わうことが新鮮であったようで、成人の方にも好評だった。

今後も利用者の意見を取り入れ、ロビーの活用法や、季節にちなんだイベントなどを企画したい。

